

参考様式

建築物エネルギー消費性能確保計画に係る軽微な変更説明書（非住宅）

（第一面）

年 月 日

一般財団法人長崎県住宅・建築総合センター
理 事 長 様

申請者氏名 建築 エネ夫

申請に係る建築物の建築物エネルギー消費性能確保計画について、建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律施行規則第 5 条に該当する軽微な変更がありましたので、変更の内容を報告します。

(1) 建築物等の名称	〇〇ビル 新築工事	
(2) 建築物等の所在地	長崎県諫早市〇〇町 1-2	
(3) 省エネ適合判定年月日・番号	〇〇年〇月〇日	000-00-2025-0-0-0000
(4) 変更の内容		
☒ A 省エネ性能等を向上させるまたは当該性能に影響を及ぼさない変更 ☒ B 一定範囲内でエネルギー消費性能を低下させる変更 ☐ C 再計算によって基準適合が明らかな変更（建築物の用途や計算方法の変更を除く。）		
(5) 備 考		
(注意)	受付欄	
1. この説明書は、完了検査申請の際に、申請に係る建築物の建築物エネルギー消費性能確保計画に軽微な変更があった場合に、完了検査申請書の第三面の別紙として添付してください。 2. (4) 変更の内容において、Aにチェックした場合には第二面に、Bにチェックした場合は第三面に必要事項を記入した上で、変更内容を説明するための図書を添付してください。Cにチェックした場合には軽微変更該当証明書及びその申請に要した図書を添付してください。		

(第二面)

[A 省エネ性能等を向上させるまたは当該性能に影響を及ぼさない変更]

・変更内容は、☐チェックに該当する事項となる

- ☒ ① 建築物の高さ又は外周長の減少
☐ ② 外壁、屋根又は外気に接する床の面積の減少
☐ ③ 空気調和設備等の効率の向上又は損失の低下となる変更（制御方法等の変更を含む）
☐ ④ エネルギーの効率的利用を図ることのできる設備の新設又は増設
☐ その他 （ ）

・上記☐チェックについて具体的な変更の記載欄

以下の変更を実施

- ・ 1 階階高減少に伴う建築物高さの減少

・添付図書等

立面図、断面図

(注意) 変更内容は、該当するものすべてにチェックをすることとし、チェックをした事項については、具体的な変更内容を記載した上で、変更内容を示す図書を添付してください。

(第三面)

[B 一定範囲内でエネルギー消費性能を低下させる変更]

・変更前の BEI = (0.7) ≤ (0.8) × 0.9	
・変更となる設備の概要	
☒ 空気調和設備 変更内容記入欄	・断熱材厚さの変更 吹付硬質ウレタンフォーム A 種 1 (変更前) 30mm → (変更後) 25mm ・西側開口部のブラインド設置取りやめ ・パッケージエアコン機種変更 RHC-1～3 (変更前) 品番○○○ → (変更後) △△△
☒ 機械換気設備 変更内容記入欄	・送風機 機種変更 FE-1～3 (変更前) 品番●●● → (変更後) ▲▲▲
☒ 照明設備 変更内容記入欄	・2 階～5 階機械室 照明台数変更 品番■■■-■■ (変更前) 132 台 → (変更後) 135 台
☒ 給湯設備 変更内容記入欄	・洗面所給湯熱源 機種変更 EH-1～2 (変更前) 品番◎◎◎ → (変更後) ×××
☒ 太陽光発電 変更内容記入欄	・アレイのシステム容量の変更
・添付図書等	
平面図、立面図、断面図、仕様書、機器表、仕様シート	
(注意) 変更となる設備は、該当するものすべてにチェックをすることとし、チェックをした設備については、変更内容記入欄に概要を、第三面別紙に必要事項を記入した上で、変更内容を示す図書を添付してください。	

(第三面 別紙)

[空調和設備関係]

次に掲げる (イ)、(ロ) のいずれかに該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。
(イ) 外壁の平均熱貫流率について 5%を超えない増加 かつ窓の平均熱貫流率について 5%を超えない増加
外壁の平均熱貫流率について 5%を超えない増加の確認
変更内容 ☐ 断熱材種類 ☒ 断熱材厚み 変更する方位 ☒ 全方位 ☐ 一部方位のみ (方位) 変更前・変更後の平均熱貫流率 変更前 (0.822) 変更後 (0.862) 増加率 (4.9) %
窓の平均熱貫流率について 5%を超えない増加
変更内容 ☐ ガラス種類 ☒ ブラインドの有無 変更する方位 ☒ 全方位 ☐ 一部方位のみ (方位) 変更前・変更後の平均熱貫流率 変更前 (3.19) 変更後 (3.27) 増加率 (2.6) %
(ロ) 熱源機器の平均効率について 10%を超えない低下
平均熱源効率 (冷房平均 COP)
変更内容 ☒ 機器の仕様変更 ☐ 台数の増減 変更前・変更後の平均熱源効率 変更前 (1.39) 変更後 (1.28) 減少率 (8.0) %
平均熱源効率 (暖房平均 COP)
変更内容 ☒ 機器の仕様変更 ☐ 台数の増減 変更前・変更後の平均熱源効率 変更前 (1.83) 変更後 (1.73) 減少率 (5.5) %

(第三面 別紙)

[機械換気設備関係]

評価の対象になる室の用途毎につき、次に掲げる（イ）、（ロ）のいずれかに該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。
（イ）送風機の電動機出力について 10%を超えない増加
室用途（ 便所 ） 変更内容 ☒ 機器の仕様変更 ☐ 台数の増減 変更前・変更後の送風機の電動機出力 変更前（ 0.41 ） 変更後（ 0.42 ） 増加率（ 2.5 ）%
室用途（ ） 変更内容 ☐ 機器の仕様変更 ☐ 台数の増減 変更前・変更後の送風機の電動機出力 変更前（ ） 変更後（ ） 増加率（ ）%
（ロ）計算対象床面積について 5%を超えない増加（室用途が「駐車場」「厨房」である場合のみ）
室用途（ 駐車場 ） 変更前・変更後の床面積 変更前（ ） 変更後（ ） 増加率（ ）%
室用途（ 厨 房 ） 変更前・変更後の床面積 変更前（ ） 変更後（ ） 増加率（ ）%

(第三面 別紙)

[照明設備関係]

評価の対象になる室の用途毎につき、次に掲げる(イ)に該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。
(イ) 単位床面積あたりの照明器具の消費電力について 10%を超えない増加
室用途 () 変更内容 ☐ 機器の仕様変更 ☒ 台数の増減 変更前・変更後の単位床面積あたりの消費電力 変更前 (18.72) 変更後 (19.20) 増加率 (2.6) %
室用途 () 変更内容 ☐ 機器の仕様変更 ☐ 台数の増減 変更前・変更後の単位床面積あたりの消費電力 変更前 () 変更後 () 増加率 () %
室用途 () 変更内容 ☐ 機器の仕様変更 ☐ 台数の増減 変更前・変更後の単位床面積あたりの消費電力 変更前 () 変更後 () 増加率 () %
室用途 () 変更内容 ☐ 機器の仕様変更 ☐ 台数の増減 変更前・変更後の単位床面積あたりの消費電力 変更前 () 変更後 () 増加率 () %

(第三面 別紙)

[給湯設備関係]

評価の対象になる湯の使用用途毎につき、次に掲げる(イ)に該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。
(イ) 給湯機器の平均効率について 10%を超えない低下
湯の使用用途 () 変更内容 ☒ 機器の仕様変更 ☐ 台数の増減 変更前・変更後の平均効率 変更前 (0.37) 変更後 (0.34) 減少率 (8.2) %
湯の使用用途 () 変更内容 ☐ 機器の仕様変更 ☐ 台数の増減 変更前・変更後の平均効率 変更前 () 変更後 () 減少率 () %
湯の使用用途 () 変更内容 ☐ 機器の仕様変更 ☐ 台数の増減 変更前・変更後の平均効率 変更前 () 変更後 () 減少率 () %

[太陽光発電関係]

下掲げる（イ）、（ロ）のいずれかに該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。
（イ）太陽電池アレイのシステム容量について 2%を超えない減少
変更前・変更後の太陽電池アレイのシステム容量 変更前 システム容量の合計値（ 2.15 ） 変更後 システム容量の合計値（ 2.11 ） 変更前・変更後のシステム容量減少率（ 1.9 ）%
（ロ）パネル方位角について 30 度を超えない変更かつ傾斜角について 10 度を超えない変更
パネル番号（ ） パネル方位角 ☐ 30 度を超えない変更 （ ）度変更 パネル傾斜角 ☐ 10 度を超えない変更 （ ）度変更
パネル番号（ ） パネル方位角 ☐ 30 度を超えない変更 （ ）度変更 パネル傾斜角 ☐ 10 度を超えない変更 （ ）度変更